

内藤きんじの市政報告 第67号

2017年9月28日

発行責任者： 館山市議会議員（日本共産党） 内藤欽次
連絡先 館山市八幡 291 電話&Fax 0470-22-8486



2017年9月議会での一般通告質問について報告します。

1 高齢者の足として、「さかなクン」バスの利用はできないか

過疎地域における路線バスの運行数は減少する一方です。

特に高齢者は買い物や通院など日常生活に支障をきたしており、その要望は強いものがあります。今年度より、スクールバス「さかなクン」が導入されましたが、日中の空いた時間に高齢者、一般市民の足として「さかなクンバス」を利用できないか質しました。

<答弁>スクールバス「さかなクン」は、①房南小学校（神戸富崎地区）②三中（九重地区）③豊房小学校・二中（神余、畑地区）の3台で送迎バスとして使用している。そのほか学校行事などで使用中だが、空いているときは貸出し可能である。

路線バスが減少している中、現在、1500万円を公共交通に補助しているが、新たな財源の確保は難しいが、これをどう使うかなど住民の声を聞きながら検討していきたい。

その他、①「さかなクン」バスの購入代金、②バスの購入に際し、専門家の意見を聞いたか、などを質しました。

25人乗りマイクロバスは1台630万円、45人乗り中型バスは、2台28



00万円。購入の際、バス会社に相談したとしていますが、何れのバスにも荷台が備わっていません。部活の試合の際に大きな荷物を膝に乗せる危険なども考慮すべきだったと思います。

高齢者の足の確保については、他の自治体で成功している例もありますので、それらも参考に引き続き要求していきたいと思います。

2 国民年金でも入ることのできる高齢者施設の増設と地域託老所の検討を

私がこのことを取り上げたのは、館山市は高齢者人口が多く、安心して過ごせる環境を整備して欲しいという切実な市民の要望があったからです。

(1) 特養老人ホームは不足しています。増設を要望しました。

<答弁>現在特養老人ホームは120床を計画（館山地区に60床、富崎地区に60床）。待機者は、平成29年7月1日現在169名。待機待ちが解消できない状況にあるが、30年度からの建設を計画しているところ。ただ、国が施設から地域へという方針を出している中、建設抑制がかかってきてしまうのではないかと懸念している。

※ 「施設から地域へ」ってどういうこと・・・国が財政困難を理由に、施設の増設でなく、自治体を中心とした地域にその役割を持たせようとしたもの。施設から在宅介護へ、通所施設（デイサービス）からボランティアによる「サロン」へなど安上がりな政策転換が目的。

(2) えっ、国民年金を40年納めてもグループホームには入れないの？

<答弁>グループホーム（主に軽度の認知症高齢者が入居）は、介護サービス費から1割（所得により2割）全額自己負担の居住費や食費等で料金が決まっており、国民年金収入では入所は難しい。特養老人ホームは、市民税非課税世

帯で、預貯金等が基準額（単身で1000万円）以下であれば、入所は可能。しかし、保険料の納付期間が短かく受給額が少なかった場合や、施設での行事参加費や日常生活に必要なものを提供する場合の費用等が多くかかれば入所が難しいケースもある。

<内藤>認知症の進んだ親をグループホームに預けなければならない時、経済的な負担が必ず家族にかかってきます。グループホームの入居も、特養老人ホーム同様、所得によって料金が決められ、負担限度額があることが必要です。しかし特養老人ホームもまた、預貯金の制限があったり、施設により介護保険以外の料金がかかったりと入居が難しいことが、市の答弁でわかりました。私は、市としての支援と、国へも要望を出すよう要請しました。

（3） 空き家活用の託老所を集落ごとに設置するよう要望しました。

<答弁>高齢者の居場所として、集落ごとの集会所を利用した介護予防や認知予防、閉じこもり防止を目的に、交流するための自主運営型のサロンの立ち上げの支援を行っている。現在20カ所あり、100カ所をめざす。そのために空き家を利用することはある。

<内藤>設置を検討してほしい託老所は、“町外れではなく、高齢者が住み慣れた身近な地域の民家で、近所の人を手伝いをし、隣の家遊びに行く感覚で通える所、昔からの知り合いと話しが出来、食事を一緒に支度する、趣味を楽しむことで生きる楽しみが持てる、認知症が出ないように、また認知症があっても進行を遅らせることが出来る。同居の家族も、親たちがそういう所に昼間行ってくれると安心して仕事出来る、こういうところです。

日常生活の延長で、気軽に好きな時いつでも出入りできる場所、それが近くの空き家・



民家です。家で過ごしている気分で、みんなと共同作業をする。最後まで生きがいと誇りを持って暮らす環境が必要だと思います。そのために、市が、活用できる民家に手すりをつけたり、トイレを直す、段差をなくすなど改修に支援することを要求していきたいと思います。

3 狭くて危険な国道410号・長須賀「孫橋」の交通安全対策を

（1） 「孫橋」を通行する際の危険性を承知しているか

<答弁>県の管理である国道410号の孫橋については、前後の車道の路肩幅に比べると、橋梁部の路肩が狭いため、通行上、不安を感じることもあると思われる。また、車道の外側線が消えていることにより、外側線の標示や、孫橋の親柱がはっきりわかるための反射材の設置について千葉県へ改善の要望をしたところ。

<内藤>現在応急処置がされていますが、孫橋の親柱の下部に反射板が取り付けられただけで全く不十分です。孫橋の前後の道路の幅を広くしたのに橋だけそのままにしておいた、というのは全く手抜きとしかいいようがありません。老朽化も激しい橋でもありますので、今後は橋自体の改修も要望します。

※ 孫橋ってどこ?・・・館山銀座商店街通りを潮留橋に向かって、踏切の少し先にある橋です。

無料法律相談会のお知らせ

日時 9月29日(金) 午後1時30分～
場所 千倉保健センター・2階プレイルーム
弁護士 陶山 嘉代
お申し込みは早めに (予約制)
主催 日本共産党安房都市議員団
申込先 内藤欽次 22-8486

